

令和6年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	北区
学 校 名	大阪市立中津小学校
学校長名	三辻 文子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和6年4月18日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・中津学校では、第6学年43名

令和6年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

平均正答率を全国と比較すると、国語-0.7%、算数+7.6%となり、国語科はほぼ同水準（大阪府より+1%）、算数科は、全国平均を上回っている。

本校が日常的に教育活動で取り組んでいる朝の読書活動や読み聞かせ、また、昼のスマイルスタディタイムでの自主学習など、「言語力」を生かして、筋道を立てて思考や説明する力が身につけている。

また、継続して習熟度少人数授業に取り組んでいるため、個に応じたきめ細やかな指導の充実が、児童の学習意欲の高まりを感じられる結果となった。

教科に関する調査より、各教科において全国・大阪府の平均正答率からの分析により、以下の点について成果が見られた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕問題2一(2)「情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるかどうかをみる。」、問題3二(2)「人物像を具体的に想像することができるかどうかをみる。」において、全国・大阪府の平均正答率を大きく上回った。これは、本校が取り組んでいる読書の時間の確保や読み聞かせ、読書環境の充実により、言葉のもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して、思いや考えを伝え合おうとする態度を養うことができたと考えられる。

〔算数〕問題4(2)「速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察できるかどうかをみる。」、問題5(4)「示された情報を基に、表から必要な数値を読み取って式に表し、基準値を超えるかどうかを判断できるかどうかをみる。」では、全国・大阪府の平均正答率を大きく上回った。これは、習熟度少人数授業に取り組み、個に応じたきめ細やかな指導の成果の現れである。

質問調査より

(9)「自分には、よいところがあると思いますか。」や(10)「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか。」の質問項目において、肯定的な回答が全国・大阪府の平均率を上回る結果となった。これは、大阪市取組施策の「ブロック化による学校支援事業」や「区教育活動支援事業」での学びサポーターの人的支援も活用し、すべての教職員が子どもに繰り返し達成感と所属感を味わわせる指導を積み重ね、子どもの自己肯定感を高めることで何事にも前向きに取り組む、最後までやり抜く姿勢を育ててきた結果である。また、(29)「5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫しては発表していましたか。」においても肯定的な回答の割合が全国・大阪府を上回った。これは、大阪市取組施策の学力向上支援事業チーム事業のスクールアドバイザー支援による授業力向上や学校教育ICT活用事業による学習者用端末の活用 に注力してきた結果である。

今後の取組(アクションプラン)

- ・ 今後も子どもに繰り返し達成感と所属感を味わわせる指導を積み重ねることで、子どもの自己肯定感を高め、何事にも前向きに取り組む、最後までやり抜く姿勢を育てていく。また、学校規律の指導をさらに進める。
- ・ ICT支援員の学校訪問を活用して、ICT機器環境の充実や主体的・対話的で深い学びの実現に向けて学習効果を高める活用方法についての実践研修を計画的に推進する。
- ・ 学校図書館司書や地域ボランティア方による、図書館開放、読み聞かせの機会を増加した。これらを基盤に、さらに子どもたちが本に親しめるような読書環境の整備を図り、文章に触れる機会を増やすとともに、感じたことを表現する力を高められるような取り組みを推進する。

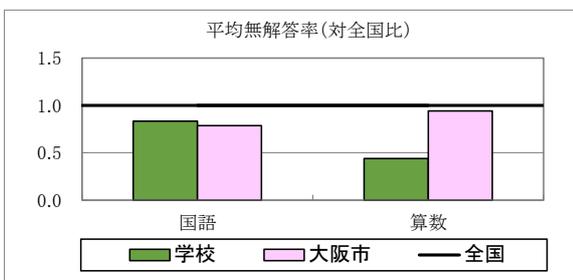
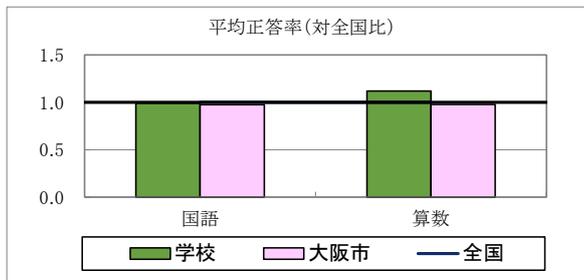
【 全体の概要 】

平均正答率 (%)

	国語	算数
学校	67	71
大阪市	66	62
全国	67.7	63.4

平均無解答率 (%)

	国語	算数
学校	3.5	1.5
大阪市	3.3	3.2
全国	4.2	3.4



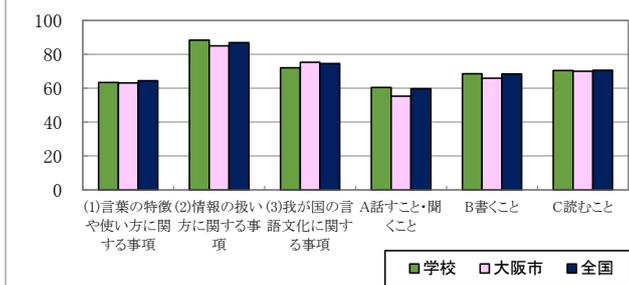
【 国語 】

学習指導要領の内容	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	63.4	63.1	64.4
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	88.4	85.0	86.9
(3)我が国の言語文化に 関する事項	1	72.1	75.3	74.6
A 話すこと・聞くこと	3	60.5	55.3	59.8
B 書くこと	2	68.6	65.9	68.4
C 読むこと	3	70.5	70.1	70.7

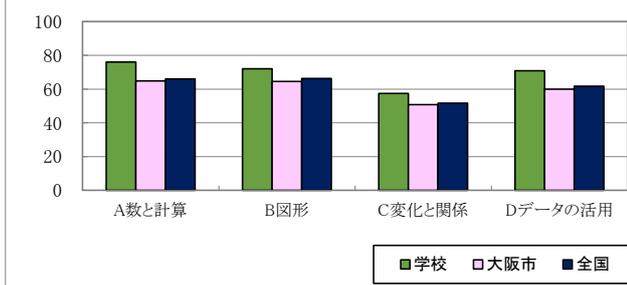
【 算数 】

学習指導要領の領域	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	6	76.0	64.8	66.0
B 図形	4	72.1	64.6	66.3
C 測定	0	/	/	/
C 変化と関係	3	57.4	50.8	51.7
D データの活用	4	70.9	60.0	61.8

国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)

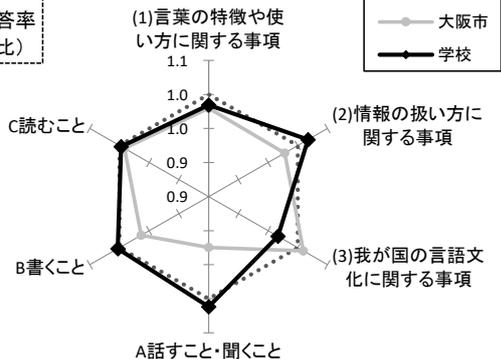


算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



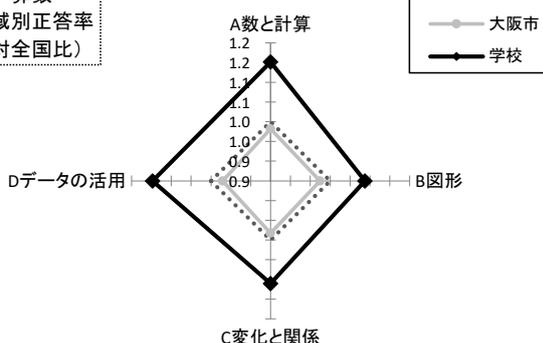
国語

内容別正答率
(対全国比)



算数

領域別正答率
(対全国比)

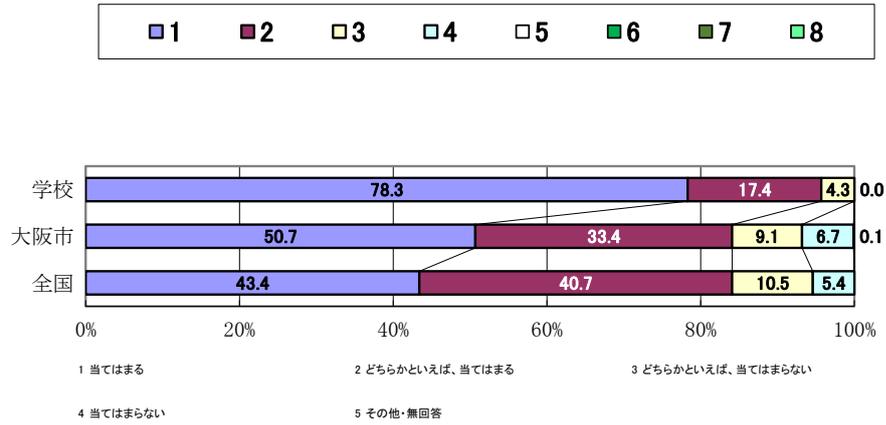


児童質問より

質問番号
質問事項

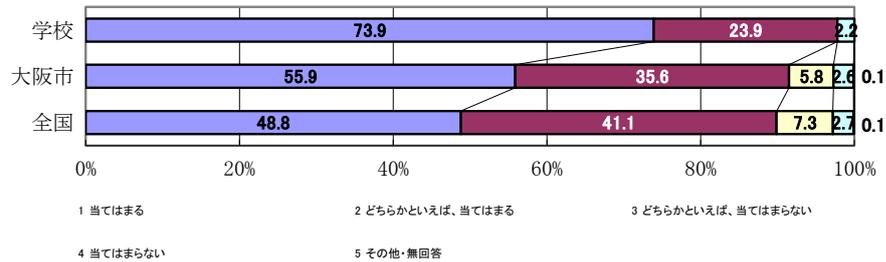
9

自分には、よいところがあると思いますか



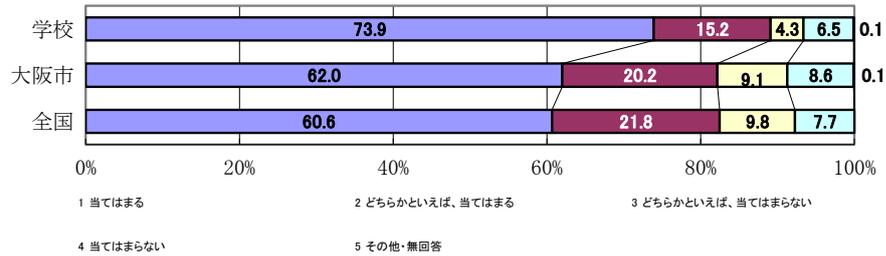
10

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



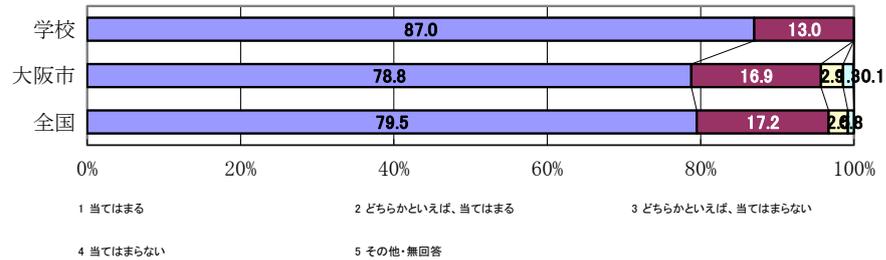
11

将来の夢や目標を持っていますか



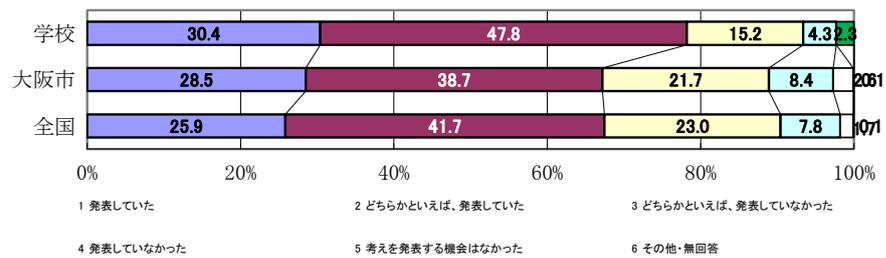
13

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



29

5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



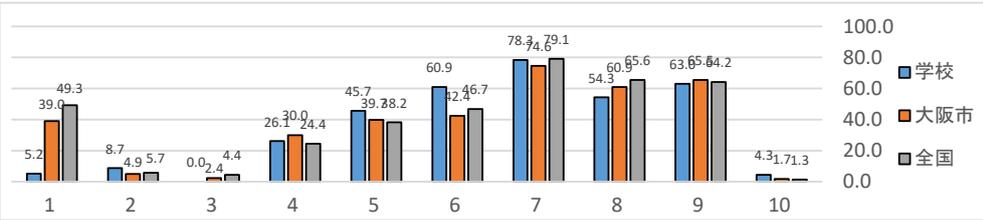
児童質問より(26)

質問番号

質問事項

26

放課後や週末に何を
 過ごすことが多いですか
 (複数選択)



1 家で勉強や読書をしている

2 放課後子供教室や放課後児童クラブ(学童保育)に参加している

3 地域の活動に参加している(地域学校協働本部や地域住民などによる学習・体験プログラムを含む)

4 学習塾など学校や家以外の場所で勉強している

5 習い事(スポーツに関する習い事を除く)をしている

6 スポーツ(スポーツに関する習い事を含む)をしている

7 家でテレビや動画を見たり、ゲームをしたり、SNSを利用したりしている

8 家族と過ごしている

9 友達と遊んでいる

10 1~9に当てはまるものがない

